

七月二十日午後五時ヨリ大隊（大除配属部隊加故）ハ
 天生港ニ兵力ヲ集結シ午後十時ヨリ田岡隊
 ニヨリ配船セラレタル舟艇十九隻ニ乗船シ
 開始ス
 参加人員左ノ如シ
 大隊本部 七二名
 （大小行李ヲ含ム）
 通信班 一名
 騎兵無線班 四名
 第九中隊 一名
 第十中隊 一名
 第三機關銃中隊 四名
 野砲兵中隊 三名
 工兵 一名
 計 四三〇名

//

暗夜ニシテ揚子江ハ浪荒ク部隊ハ衆船困難
 ナリシカ豫定ノ如ク衆船ヲ完了シ正子十二
 時天生港ヲ出發廻江ヲ開始ス
 暗黒ノ江上朔風ニ洗ハレテ八月ト雖モ冷氣
 身ニ沁ミテ寒ク蕭々ト航行セル舟艇隊ハ途
 中ノ連絡ニ多大ノ苦心ヲナシツツ予定ヨリ
 遅レ午前六時頃新生港東方ニ料ノ地莫ニ達
 シ先ツ第十中隊ヲ上陸所命ノ地莫ニ攻撃前
 進セシメ水陸相呼應シテ新生港ニ向フ
 午前七時四十分舟艇天生港附近ニ到ルヤ第
 九中隊久保田少尉指揮スル一小隊ヲ新生港
 西岸ニ上陸セシメ附近ヲ占領シ主力ノ上陸
 ヲ掩護セシメ同八時主力ハ敵ノ抵抗ヲ受ク
 ルコトナク新生港ニ入り附近ヲ掃蕩ス

第十中隊又東方ヨリ掃蕩シツツ同時刻新生
 港ニ到着シ完全ニ之ヲ占領セリ
 新生港ハ上海トノ交易所ニシテ支那「ジャンク」
 川ニ密集シアリ獨逸人佛蘭西人等居住シ專
 ラ交易ヲ行ヒツツアルモノ如ク土民ハ殆
 ント無シ
 附近土民ノ言ニヨルハ新生港ニアリシ約二三百
 ヲ敵ハ本早朝北方ニ退却セリト
 大隊ハ第九中隊ヲ新生港ニ殘置シ警備セシ
 ヲ主力ハ更ニ石莊鎮ヲ攻略スハク午前十時
 野砲兵ヨシテ石莊鎮ヲ砲撃セシメ第十中隊
 諏訪部少尉ノ指揮スル一小隊ヲ尖兵トシ工
 兵分隊ヨ之ニ續行セシメ大隊本部第十中隊
 機関銃中隊ノ順ニ陸路ヲ石莊鎮ニ向ヒ爾餘

//

楊

ノ部隊ハ民船ヲ徴發シ水路ニヨリ前進ス
 此日氣温高ク炎熱嚴シクシテ水陸共ニ極メ
 テ困難ヲ極メシカ午前十一時尖兵ハ敵ノ大
 ナル抵抗ヲ受クルコトナク石莊鎮ヲ占領シ
 續イテ主力入リテ部落内ヲ掃蕩正午完全ニ
 之ヲ占領セリ
 午後六時全部隊ノ集結ヲ終リ大隊ハ警戒配
 備ヲ完了ス
 石莊鎮ハ曩ニ佐藤支隊ニ於テ一旦占領セシ
 カ爾後再ヒ敵侵入シ最近朱千里ヲ長トスル約七
 八百名アリシカ今朝我カ攻撃ニヨリ北方ト
 八軒附近ニ遁走セルモノ如シ
 新生港及石莊鎮警戒配備要圖別紙ノ如シ
 大隊ハ石莊鎮攻略後整備隊トナリ新生港ト

共ニ警備ニ任ス
 新生港ノ土民ハ大部分逃亡シ僅カニ(數十)名
 ヲ數フルニ過キサリシカ石莊鎮ニハ多數ノ
 住民アリ
 物資亦豊富ニシテ遠ニ治安ノ恢復ヲ計ル必
 要アリ偶々三十六年神戶ニ在駐セル張大虎
 雜貨商ヲ營ミ居住シ居リ我軍ノ占領ト共ニ
 諸事連絡ニ任セシカ七月二十二日在住民ヲ
 以テ治安維持會ヲ設立シ夕キ旨申出テリ警
 備隊長ハ警備隊ノ今後ノ諸工、作並ニ我々軍
 治ニ支障ナキ範圍ニ於テ極力援助スヘキ旨
 說示シ之ヲ許可セシカ翌二十三日張ヲ會長
 トシ附近一帯ノ住民ヲ一丸トセル治安維持
 會ノ結成ヲ見石莊鎮ノ中央ニ事務所ヲ設ケ

//

事務ヲ開始ス
 警備隊ハ極力此ノ活動ヲ援助スルト共ニ附
 近一帶ノ警戒ヲナシ敵情ノ搜索ヲナシツ
 次期作戰ニ備フ
 新生港ニハ住民ノ歸還少ナク治安維持會結
 成セラルル迄ニ至ラス在住獨逸人ニ名ハ我
 カ軍ニ極メテ好意ヲ寄セ日用品ノ献納等ヲ
 行フ爾來警備ニ萬全ヲ期シツツ待機セシカ
 聯隊本部トノ無電連絡遠ク其ノ後ノ狀況不
 明ニツキ七月二十五日糧秣補給船到着セル
 ヲ以テ歸路連絡員ヲ唐家間ニ派遣セシカ七
 月二十七日聯隊本部小林少尉連絡員ト共ニ
 石莊鎮ニ來リ左記聯隊命令ヲ持參ス
 左記

歩一四九聯作命甲第二四〇號要旨

一 聯隊（第一大隊（第一第三隊欠））ハ二十八日中ニ全
 兵力ヲ唐家閘ニ集結シ爾後ノ轉進ヲ準備
 シ且所要ニ應シ如皋以南警備諸隊ヲ應援
 シ得ルノ準備ヲナサントス

二 第三大隊長ハ敵塚支隊ノ一部到着セハ石
 莊鎮附近ノ警備ヲ交代シ二十八日中ニ天
 生港ニ歸還シ速ニ唐家閘ニ集結シ配属各
 部隊ヲ其ノ本属ニ復歸セシムヘシ

船舶輸送ニ関シ第十四碇泊場田岡隊協力
 スル爲ニ十七日夕新生港ニ至ル依テ輸送
 ノ細部ニ関シテハ直接同隊ト協議スヘシ

三 以下省略

聯隊長

津田 大佐

11

右ニヨリ警備隊ハ石莊鎮ノ警備ヲ飯塚部隊
 ノ一部ト交代シ唐家閘ニ歸還セントス然レ
 共未夕飯塚部隊見エス午後四時三十分左記
 無電ヲ聯隊本部ニ發ス
 左記
 一 小林少尉連絡ノ夕ノ本日午後二時到着ス
 二 交代部隊未夕到着セス
 午後七時五十分左記無電ヲ接受ス
 貴地ニ交代部隊遅レル模様ナリ貴隊ハ飯
 塚部隊ト交代後同地ヲ引揚ケ歸還スヘシ
 七月二十八日昨二十七日夕刻ヨリノ大雨未
 夕止マス交代部隊出發スト雖モ其ノ到着ハ
 遅レル模様アリ
 午前十一時二十五分左記無電ヲ接受ス

午後三時三十分左記無電ヲ接受ス
 一砲泊場ノ船舶必要ニ付砲兵其他交代不要
 部隊ハ速ニ歸還セシムヘシ
 其他ハ飯塚部隊ト交代後歸還スヘシ
 右ニ對シ左記返電ヲナス
 一新生港迄ノ道路不良ノ夕メ本二十八日中
 二砲車運搬シ得ス明二十九日早朝砲兵工
 兵大小行ヲ歸還セシム
 二歸還船舶台灣漢船一門橋一ヤンマー船一
 三交代部隊石莊鎮到着日時判明次第通知ヲ
 午後四時一部ヲ天生港ニ歸還セシムヘク左

//

記命令ヲ下達ス

左記

石莊鎮攻略部隊命令

七月二十八日午後四時

一 佐藤支隊ハ歩兵第一〇一聯隊ヲ基幹トス
 ル部隊ヲ飯塚支隊トシテ江北ニ残置シ主
 カヲ以テ天生港附近ニ集結シ轉進ヲ準備
 ス
 飯塚支隊ハ二十五日以後東台附近ノ警備
 ヲ撤シ如皋天生港石莊鎮通州等ノ要地ヲ
 確保シ如皋以南ノ地區ノ警備ニ任ス如皋
 丁堰鎮通州警備部隊ハ歩兵第一〇一聯隊
 ノ部隊ト交代シ二十八日正午以後聯隊ニ
 復歸ス
 二 石莊鎮攻略部隊ハ飯塚支隊ノ一部ト警備

交代ノ爲メ先ツ一部ノ兵力ヲ天生港ニ歸
 還セシムトス
 三 野砲兵中隊長佐藤大尉ハ部下中隊及工兵
 分隊第三大隊大小行李ノ一部ヲ指揮シ新
 生港ニ至リ二十九日早朝第十四砲泊場ノ
 舟艇ニヨリ天生港ニ歸還スヘシ
 四 天生港到着後ハ野砲兵中隊及工兵分隊ハ
 原所屬ニ復歸シ大小行李ノ一部ハ吉野主
 計少尉ノ指揮ヲ以テ唐家閘ニ至リ宿營ス
 ヘシ
 五 余ハ石莊鎮ニ在リ
 石莊鎮攻路部隊長 岩下少佐
 轉進時期ハ切迫シ急キ天生港ニ集結スヘキ
 狀況ナリシカ歩一〇一聯隊ノ交代部隊未到

//

着ノ夕メ二十九日一部ノ歸還ヲ實施セシカ
 揚子江ハ波浪高ク野砲兵ノ輸送困難ニシテ
 遂ニ新生港ニ引返セリ
 歸還時期ニ關スル聯隊本部ヨリノ照會電報
 頻リニ至ルモ如何トモナス能ハス
 午後六時雨中ヲ交代部隊漸ク到着セシカ當
 警備隊歸還スヘキ舟艇新生港ニ無ク之カ手
 配ヲ無電ヲ以テ聯隊本部ニ依頼セシカ同夜
 八時三十分
 支隊主力ハ三十一日乗船ノ予定貴隊第二
 次輸送トシテ一週間位遅レル苦
 歸還ノ舟艇ハ八月一日或ハ二日ニ新生港
 ニ到着ノ筈
 トノ返電ニ接ス

翌三十日午後六時海上トヲツク第七長運丸
 一隻廻漕セラレ新生港ニ到着セルヲ以テ第
 十中隊第三機関銃中隊通信班ハ第二次トシ
 テ石莊鎮ニ残置シ大隊本部及第九中隊先ッ
 衆船歸還スヘク午後六時四十分大隊本部ノ
 ミ石莊鎮ヲ出發セリ治安維持會長張大虎以
 下役員堵列シ見送ル
 同夜新生港ニ露營シ三十一日午前八時待機
 中ノ野砲兵隊ヲ併セ新生港ヲ出發午前十一
 時天生港ニ到着ス
 第二次歸還ノ第十中隊以下ニ對シテハ出發
 ニ當リ舟艇ノ派遣ヲ要求セシカ未ク派遣セ
 サリシヲ以テ第七長運丸ヲ折返シ使用シ八
 月一日天生港ニ集結ス

元

//

爾後大隊ハ第二次輸送部隊トナリ唐家閣ニ
主力ヲ置キ（第十一第十二中隊並ニ第九中隊機關銃中隊ノ各一小隊復歸ス）
第十中隊ト機關銃中隊ハ天生港ニ宿營セシム
七月三十一日午後五時下達大隊命令左ノ如
シ

左記

大隊命令

七月三十一日午後五時

一 師團ハ召集團司令官ノ隸下ニ入リ二十六
日蕪湖彭澤ニ向ヒ前進中ニシテ佐藤支隊
ノ來着ト共ニ更ニ西進ヲ企圖シヤリ
佐藤支隊ハ彭澤ニ向ヒ轉進スル爲檢度實
施ニ付一旦上海ニ寄港ス
聯隊（*III. I.A. KBA. 1. 3. 5. 6. 7.*）ハ第一次輸送部隊トナリ
本三十一日天生港ヲ出發ノ予定ナリ

二 大隊（第十一隊第九中隊ノ一隊第三機關銃中隊ノ一隊ヲ復歸ス）ハ
 三 第二次輸送ニ依リ彭澤ニ向ヒ轉進セシトス
 四 各隊ハ轉進ノ準備ヲ完了シ待機スヘシ
 五 余ハ唐家閘ニ在リ
 大隊長 岩下 少佐
 第二次輸送部隊トシテ唐家閘ニ於ケル待機
 八月一日以降第二次輸送部隊トシテ唐家閘
 並ニ天生港ニ在リテ待機セル大隊ハ露營司
 令官村上少佐ノ指示ニヨリ露營シ次期戰鬪
 準備ヘ待機只管出發シ命ヲ待ツ
 唐家閘天生港ニハ當時コレヲ患者續出シ衛生
 並防疫ニ全力ヲ盡シ之カ擴大ヲ妨止ス
 長期ニ亘ル各方面ノ戰鬪ノ結果疲勞累積ト

夏季ノ炎暑トヨリ平病患者又續出シ入院
 患者モ著増ス將校ノ倒ルルモ多ク本待機
 中ニ第十一中隊長長田大尉大隊副官花輪中
 尉ヲ首メ數名ヲ數ヘタリ
 參考トナルヘキ所見
 一阜寧撤退ノ際ニ於ケル部落焼却ハ予メ放火
 ノ時刻ヲ定メ周到ナル諸準備ノ下ニ實
 施セルモ後衛以外ノ先行セル部隊ノ兵ニシ
 テ命令ナク放火セルモノアリ爲ニ過早ニ我
 企圖ヲ察知セラレ敵兵及住民城門近ク殺到
 シ且第一線歩哨ノ撤退時ノ通路ヲ閉塞シ兵
 力集結ニ苦心セリ部落焼却等ハ稍モスレ
 ハ不軍規ニ陥リ易キヲ以テ各隊ハ嚴ニ監督

二 進路近クニ併行セル水路アル場合之ヲ利用
 シ患者及弱兵ヲ收容シ且ツ荷物及装具等ヲ
 輸送スルハ行軍戦闘力ヲ保持スル爲頗ル有
 利ナリ此際發動機ヲ有スル船及快速ナル
 小艇舟ヲ配當スルヲ得ハ連絡等ノタメ有利
 ナリ
 三 船ヲ利用スル場合ハ水路ニ詳シク且操舟ノ
 心得アル土民ヲ使用スルヲ可トス
 兵ノミナルトキハ意外ノ失敗ヲ招クコトアリ
 四 敵兵近ク追躡スル状況ニ於テ撤退時放火ス
 ルハ我企圖ヲ曝露シ敵ニ追尾セラレ後衛ノ
 行動ヲ困難ナラシムルヲ以テ之カ利害ニツ
 キ考慮ヲ要ス

11

五、今次ノ如ク敵遊撃隊出沒多キ状況ニ於テハ
 側衛ノ要アルモ、ツクリク縦横ニ走リテ主力ノ
 進路ニ併行セル道路乏シキ爲側衛ノ行進著
 シク流滞スルヲ以テ適宜側衛ヲ交代セシム
 ルヲ可トス
 尚側衛ヲ出スヘキ道路ナキ場合アルヲ以テ
 後衛ニハ不意ノ敵射撃ニ對シ掩護困難ナル
 車輛部隊等ハ最小限トナスヲ適當トス
 六、工兵隊ノ橋梁破壊後ノ追及及負傷者患者等
 收容ノ爲後衛ニ自動貨車ヲ配當スルヲ有利
 トス
 七、行軍間各隊毎ニ湯茶ノ補給ヲナシ得サル狀
 況ニ於テハ沿道警備部隊ヲシテ之カ準備ヲ
 ナサシムル如ク計畫スルヲ可トス

八本作戦間特ニ阜寧ヨリノ行軍間ハ酷暑ト地
 方一般ノ水質不良塩分多キ等ノ爲多數ノ患
 者ヲ生シタルモ藥物ノ補給意ハ如クナラス
 爲ニ兵力ヲ損耗セシコト多大ナリ

別紙第一

歩百一旅作命甲第百五十號

佐藤支隊命令

七月十二日
通州支隊本部

一支隊ハ別紙輸送計画ニ基キ南京ニ向フ轉

進ヲ實施セシトス

第一次輸送

せのあ丸輸送指揮官

歩兵第百四十九聯隊

第三大隊長 岩下歩兵少佐

加洲丸輸送指揮官

歩兵第百四十九聯隊

第三大隊長 澤田歩兵少佐

第二次輸送

せのあ丸輸送指揮官

歩兵第百四十九聯隊

第三中隊長 原 大尉

加洲九輸送指揮官

歩兵第四百十九聯隊

村上歩兵少佐

細部ニ関シテハ輸送指揮官ニ於テ碇泊場

司令部ト直接連絡スヘシ

三、杉本舟艇隊ハ現在地ニ待機後命ヲ待ツヘシ

四、増加糧秣トシテ各人三日分ヲ携帶スヘシ

其補給ハ天生港兵站支部ニ於テ實施スヘシ

五、大行李ハ一日分輜重ハ二日分ノ糧食ヲ携

行スヘシ

六、内地歸還人員ハ其ノ出發迄各部隊宿營地

ニ待機シ村上歩兵少佐ノ區處ヲ受クヘシ

七、余ハ七月十四日午前九時セのあ九ニ在リ

文隊長

佐藤少將

下達法 印刷交付

6010

佐藤部隊主力第一次船舶輸送計画表

(速力) 船名 (總噸數)		人 1016人 (二〇・五) 馬 516頭 (6,785)					人 988人 (二〇・〇) 馬 291頭 (5,460)					備考				
部隊號		佐藤支隊司令部 (主力)	步兵第百四十九聯隊	第三大隊(一中隊欠)	工兵第百一聯隊等	中隊(二小隊欠)	野砲兵第百一聯隊	第三大隊本部	師團通信隊主力	聯隊本部(主力)	步兵第百四十九聯隊	第二大隊(中隊欠)	步兵砲中隊	衛生隊 16	一本表ノ人員荷物及馬匹數ハ概數ヲ示ス	
人員	將校	4	23	4	16	1	10	21	5	9						
	下士官	52	654	153	203	58	107	659	117	196						
計		(48)					(1150)					(45)		(1079)		
馬匹	馬數	8	79	23	152	7	20	49	31	22						
	計	(269)					(122)									
荷物	捆數	40	430	50		40	109	280	69	110						
	立方尺															
計		(560)					(559)									
特種材料		4	34	9	30	5	3	172	31	19						
計		82					225									
搭載地		天生港														
搭載月日		14/7頃														

11~34

13~24107

2097

佐藤支隊主力第二次船舶輸送計画表

船名		人1,016人 馬516頭 (6,785)						人988人 馬291頭 (5,460)						加洲		摘要	
(總噸數)																	
部隊號		支隊司令部殘余	步兵第一三中隊 步兵第百四九聯	野砲隊殘余全部 野砲兵第百聯	騎兵小隊	輜重兵第百一聯 隊(小隊)主力	工兵第百一聯 隊殘部	聯隊本部殘余 步兵第百四十九	聯隊砲中隊	聯隊機關銃隊	第一中隊ノ一部 輜重兵第百一聯隊	野戰病院主力 (二分ノ二)	步兵第八十二中隊 步兵第百四十九聯	本表ノ人員荷物及馬匹數ハ概數ヲ示ス			
人員	將校		5	3	1	6	1	3	2	6	1	13	9				
	下士官兵	16	328	388	25	270	70	118	139	142	90	173	318				
	計	(16) (1,097)						(34) (940)									
馬匹	馬數	9		206	25	150		45	4	4	76	63					
	計	(390)						(192)									
荷物	梱數	20	43	150	5	40		252	40	128	62	350	73				
	立方丈			(25)													
	計	(258)						(905)									
物種料	特棧	5		61		130		48	8	9	51	44					
	種料																
	計	(196)						(160)									
搭載地		天 生 港															
搭載月日		20/7 頃															

1/235 108

揚-06

2098

別紙第一二

此の丸衆船要領

- 一 各隊ノ兵員八十四日午前八時迄ニ天生港軍
- 二 馬匹八十四日午前六時三十分迄ニ搭載順序
- 三 荷物八十四日午前六時三十分迄ニ搭載順序
- 四 各隊ノ兵員馬匹荷物ノ集合集積ノ細部ニ就
- 五 於テ指示ス
- 六 船ノ搭載力左ノ如シ

種別	機材付解舟	大解舟	小蒸汽	門橋
兵員	三五名	五〇名	七〇名	四〇名
馬匹	六頭	八頭		
器機	三噸	五噸		八噸
車輛	三噸	五噸		八噸

六 碇泊場職員左ノ如シ

陸上掛 橋本軍曹

海上掛 金子軍曹

船内掛 河本軍曹

七 集合集積ニ就テハ別紙要圖（省略）ヲ參照スヘシ

別紙第二

考 備		物		荷		匠		馬		員		人		要	七のあ丸乗船勤務員差出表
各隊ハ馬匠及荷物ノ状況ニヨリ勤務員ノ数ヲ適宜増加スルコトヲ得		船内係	秋山少尉	陸上係	横森少尉	船内係	小林少尉	陸上係	水元少尉	船内係	深澤少尉	陸上係	諏訪部少尉	係長	
		佐藤支隊 一〇	岩下部隊 三〇	廻間部隊 三〇	山口隊 一〇	佐藤支隊 四〇	岩下部隊 二〇	廻間部隊 二〇	山口隊 四〇	佐藤支隊 一〇	岩下部隊 二〇	廻間部隊 二〇	山口隊 四〇	兵 二	下士官兵
		十四日	午前六時	荷物集積場	搭載順序 右ニ同シ	十四日	午前六時	馬匠積載場	搭載順序 右ニ同シ	十四日	午前六時	破泊所	乗船順序 佐藤支隊 岩下部隊 山口隊 古賀隊 廻間部隊	差出時刻	場 所
															摘 要

戦闘詳報第十一號附表

昭和十三年三月十九日 歩兵第四百十九聯隊第三大隊 死傷表

隊 號	區 分	戰鬥參加人員				死				傷				生				死不明	
		將	校	下士	兵	馬	匠	將	校	下士	兵	馬	匠	將	校	下士	兵		馬
大隊本部	(三)	二	一五	(七)	九	(六)	三												
第九中隊	五	一六七	(三)																
第十中隊	四	一六七	(三)																
第十一中隊	四	一六七	(三)																
第十二中隊	三	一六七	(三)																
機關銃中隊	三	七六	一四																
合計	(三)	一四	四二五	(八)	四	一六	(六)	三											

備考

一、第十一、第十二兩中隊ハ聯隊直轄ニシテ人
二、括弧内ノ數ハ非戰鬥人員數ヲ示ス

一、第十一、第十二中隊ハ聯隊直轄ニテ人
二、括弧内ノ數ハ非戦闘人員數ヲ示ス

11~38 111 揚~39

戦闘詳報第十一號附表

昭和十三年自八月十九日步兵第四百九聯隊第三大隊武器彈藥損耗表

隊 號	區分	消 費			損 失		
		銃小	銃輕	銃重	武器	彈藥	其ノ他ノ武器
大隊本部							
第九中隊		八五〇・三〇			一		
第十中隊		二五〇・五〇					
第十一中隊		五三二・九五					
第十二中隊		五〇〇・三〇					
機關銃中隊			四〇〇				
合計		三三二五・六五	四九〇		一		

備考

一損失武器中改換ハハ戦場遺棄セルモノハナリ頭音ス

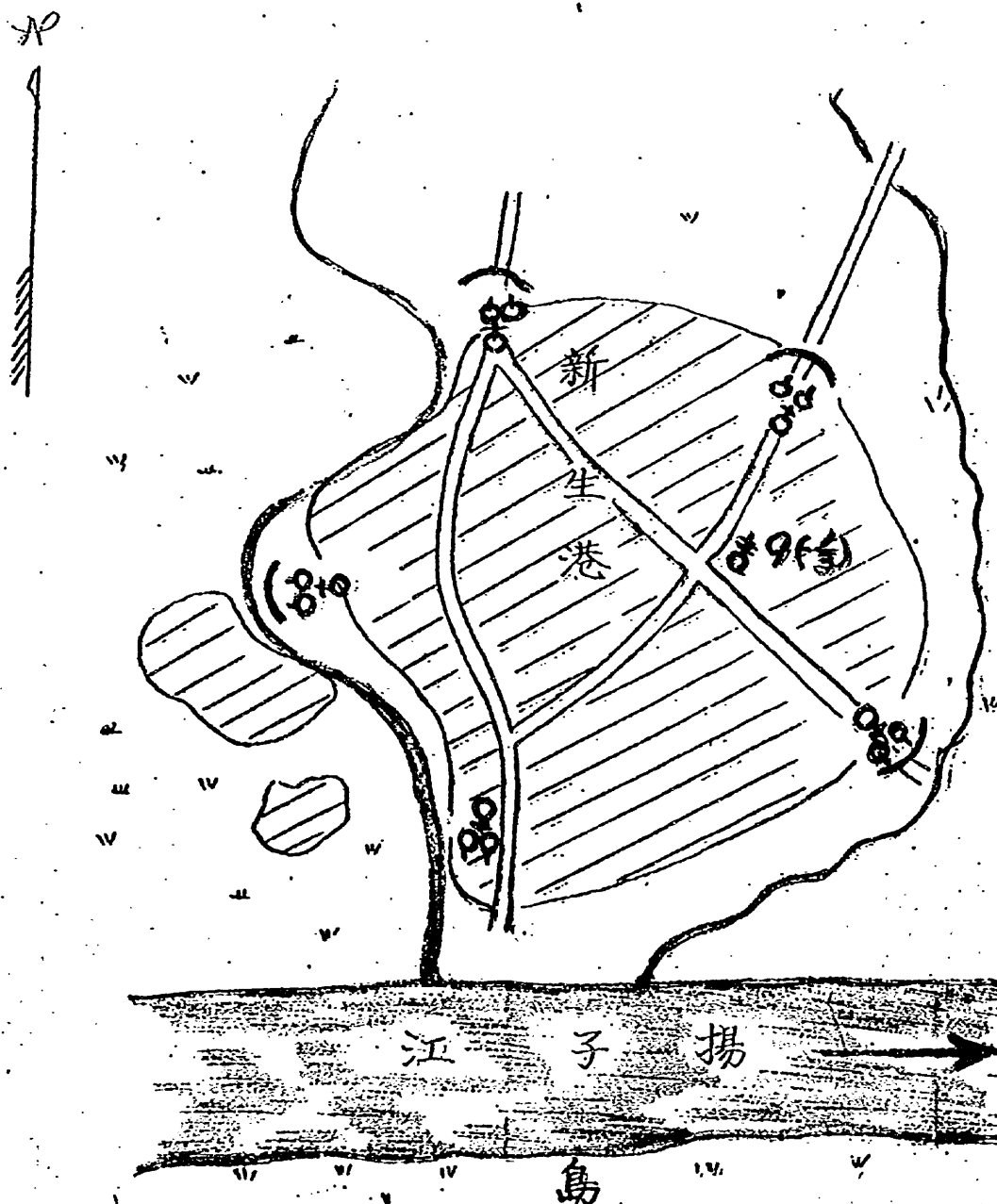
考 備		種 類		昭 和 十 三 年 自 六 月 十 九 日 至 八 月 十 一 日		歩 兵 第 百 九 十 九 聯 隊 第 三 大 隊 鹵 獲 表	
員 數	區 分	傷 亡		戰 利 品			
		將 校	下 士	馬 匹	小 銃	拳 銃	劍 銃
一	五〇〇						
二							
四							
六〇							
四							
四							
一							
一							
三							

11~40 113 揚々

2103

9110

石莊鎮攻略部隊新港警備要圖
(ルカ於=時六石莊鎮、一十月七)



1/241

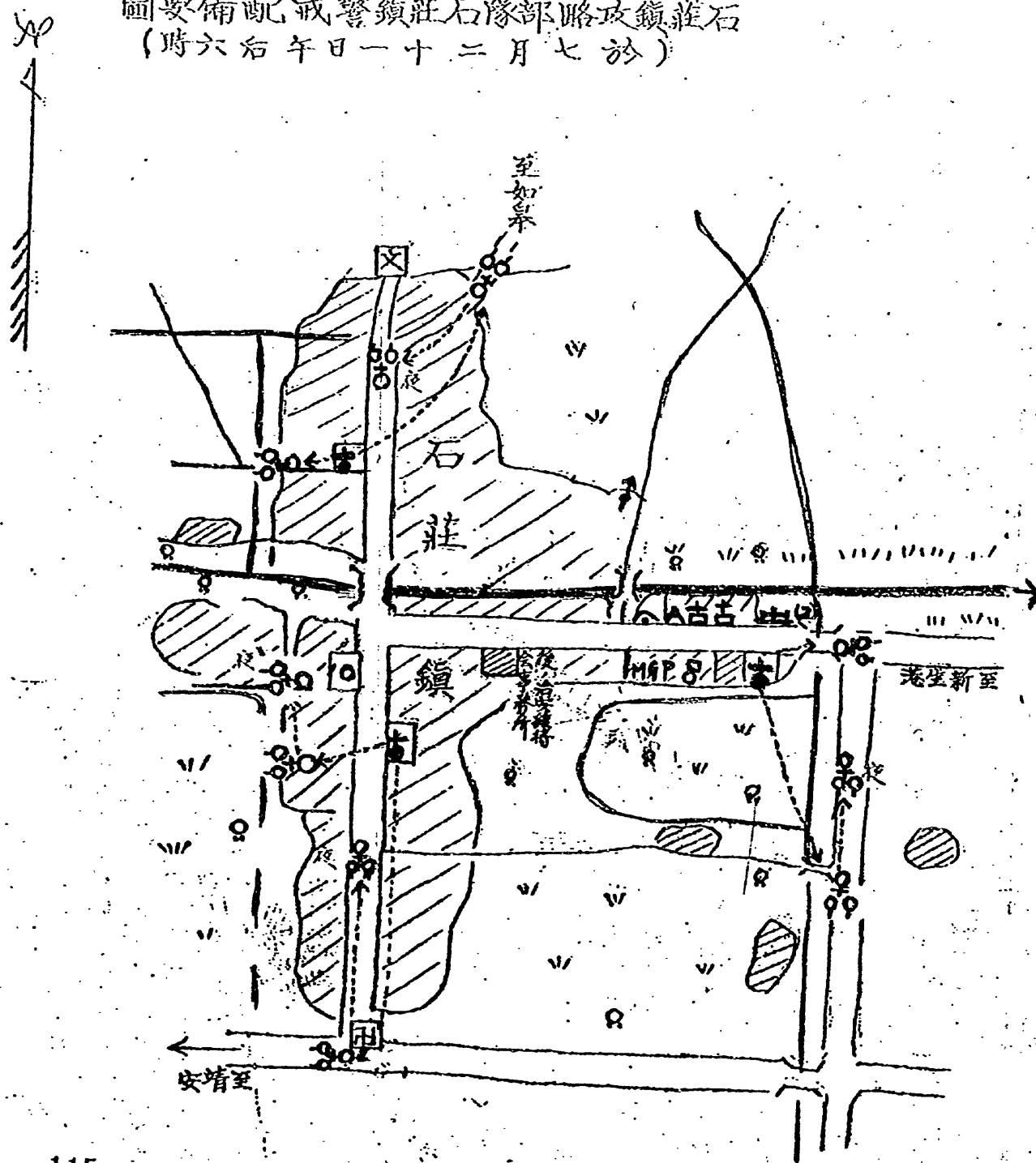
114

揚~42

2104

2110

圖要備配戒警鎮莊石隊部略攻鎮莊石
(時六后午日一十二月七於)



115

2105

揚~

揚一44

[illegible]

1124 (118)

昭和十三年七月十日現在

第九中隊編成表

昭和十三年七月十日現在

中隊幹部指揮班

第一小隊 第二小隊 第三小隊

中隊長 中尉 澤登 泉

第一小隊長 少尉 手塚英雄

第二小隊長 少尉 久保田正美

第三小隊長 少尉 寺尾示郎

指揮班 少尉 丸尾 信

軍曹 曾我 德次

小隊長 小泉 作造

同 加藤 慶次

同 矢野 頭雄

同 鈴木 金藏

同 中村 正雄

同 市野 真治

同 佐野 忠作

同 鈴木 茂

同 鈴木 茂

同 鈴木 茂

同 鈴木 茂

同 鈴木 茂

同 鈴木 茂

同 鈴木 茂

同 鈴木 茂

第一小隊
長 高村 武
上 勝浦實郎 鈴木 義一
上 高橋 圭吉 中澤 義治
上 真田 正治 伊藤 英郎
上 宮川 勝太郎 山 美登
上 高原 輝正

第二小隊
長 比留川 金次
上 小林 正義 上 高橋 茂造
上 細谷 義重 上 野村 益造
上 高橋 勇夫 上 中込 安義
上 田村 博 上 井上 三吉
上 山口 正太郎 上 秋山 典成

第三小隊
長 中山 文友
上 清水 謙一 上 山崎 春造
上 松原 健郎 上 沼田 安藏
上 小池 義廣 上 加藤 健郎
上 小林 智助 上 岡本 隆吉
上 石渡 清治 上 武藤 榮久

第一小隊
長 久保田 正美
上 佐藤 正治 上 根津 清德
上 田中 梅太郎 上 貫一 郎
上 吉田 倉吉 上 長田 舜
上 三宅 金郎
上 鈴木 太郎
上 小松 信藏

第二小隊
長 古澤 太助
上 石井 清 上 小高 正繁
上 大内 巖 上 堤川 德郎
上 鎮目 恒雄 上 高城 量平
上 高橋 龜造 上 二宮 成次
上 久保田 安吉

第三小隊
長 山崎 高次 上 川島 清吉
上 高杉 正雄 上 吉川 善助
上 須川 泰順 上 岸 由藏
上 中津川 空助
上 川村 鐵
上 蔭山 忠郎
上 井上 賢

第一小隊
長 小林 昌成
上 土屋 義一 上 中村 善作
上 高山 高 上 大村 輝
上 小山 良吉 上 村田 金次
上 井上 登 上 和田 喜助
上 中村 恒義 上 磯崎 清

第二小隊
長 伊藤 和夫
上 小野 芳吉
上 田中 孝雄
上 倉田 光雄
上 土屋 弘芳
上 柳下 榮助

第三小隊
長 守岡 只
上 白井 惣作 上 加世 一夫
上 中村 正雄 上 武井 七平
上 中島 三平 上 菅沼 新治
上 金子 龜郎 上 渡辺 素郎
上 田中 平造

第一小隊
長 坂本 知治 上 川瀬 茂吉
上 佐野 忠治 上 龍崎 秀吉
上 佐野 教一 上 大谷 博次
上 中川 博文 上 巴 定春
上 横山 茂夫 上 小野 峯三

第二小隊
長 加藤 正道
上 中村 三郎 上 酒井 政敏
上 中野 芳雄 上 大貫 直春
上 黒部 良一 上 田中 一正
上 松井 家郎 上 若命 信行
上 芦澤 金郎 上 大林 信哉

第三小隊
長 金子 順治
上 寺代 武 上 海野 金藏
上 荒井 正義 上 比留川 正一
上 森島 環三郎 上 石倉 清松
上 松本 金作 上 平山 政五郎
上 井上 村藏

第一小隊
長 加藤 忠雄
上 早川 榮一 上 古川 采郎
上 小本 甚三 上 萩原 松平
上 中村 秀治 上 神戶 一男
上 小松 二男
上 齊藤 喜一
上 土屋 伴

第二小隊
長 名取 武三
上 金子 尊太 上 小島 潤一
上 宮永 英治 上 五味 勝
上 高橋 愛郎 上 大野 秀秋
上 鈴木 長雄 上 森田 恭藏
上 鈴木 喜郎
上 小野 正治

第三小隊
長 伊藤 壽永
上 小泉 清治 上 黒沼 金作
上 渡辺 梅吉 上 大庭 次郎
上 和智 度三 上 戸澤 春重
上 河野 孝喜
上 神原 一郎
上 櫻原 明治

第一小隊
長 清水 勝之進 上 大久保 隆廣
上 田邊 博愛 上 松田 義
上 望月 政義 上 鈴木 茂夫
上 小山 兼吉 上 成井 吉郎
上 柳川 秀治
上 永井 正春

第二小隊
長 田邊 幸太郎
上 知久 武雄 上 木村 明造
上 平井 愛之助 上 田中 輝彌
上 石井 利行 上 長瀬 金一
上 海津 安之助
上 河野 孝雄

第三小隊
長 熊澤 嘉郎
上 中山 芳孝 上 高野 義勝
上 池田 今朝短 上 大須賀 善哉
上 小野 留 上 鮎川 青
上 小野 利雄 上 宮崎 保
上 田邊 仁太郎

計 一六名 六二名 六二名 六一名

合 計 二〇一名

備考
一 七月十日交代兵士上五味 勝上古川正太郎上柳下榮之助上川村 鐵上大須賀善松上黒部良一上中込安義上柳川秀治
二 七月十日上海志兵隊分遣中ノ兵小林昌成上石井清三井上村藏上武井七平復隊ス
三 七月十日陸軍補給部上上鈴木長雄以下十五名中隊編入セラル

第十中隊編成表 昭和十三年 六月十九日現在			
中隊幹部	第一小隊	第二小隊	第三小隊
中隊長 中尉 瀬見一	第一分隊長 上尉 河西一孝	第一分隊長 上尉 柏木武男	第一分隊長 上尉 齊藤泰三
中隊副長 中尉 瀬見一	第二分隊長 上尉 相沢鎮男	第二分隊長 上尉 深沢和三郎	第二分隊長 上尉 小石川清藏
第一小隊長 中尉 森田誠市	第一分隊長 上尉 丸山美弥	第一分隊長 上尉 齊藤元良	第一分隊長 上尉 土屋正明
第二小隊長 中尉 嘉山梅吉	第二分隊長 上尉 渡辺富治	第二分隊長 上尉 石井平助	第二分隊長 上尉 須田三彦
第三小隊長 中尉 曾長全	第三分隊長 上尉 三枝直富	第三分隊長 上尉 渡辺昇	第三分隊長 上尉 須田三彦
第四小隊長 中尉 曾長全	第四分隊長 上尉 三枝直富	第四分隊長 上尉 渡辺昇	第四分隊長 上尉 須田三彦
第五小隊長 中尉 曾長全	第五分隊長 上尉 三枝直富	第五分隊長 上尉 渡辺昇	第五分隊長 上尉 須田三彦
第六小隊長 中尉 曾長全	第六分隊長 上尉 三枝直富	第六分隊長 上尉 渡辺昇	第六分隊長 上尉 須田三彦
第七小隊長 中尉 曾長全	第七分隊長 上尉 三枝直富	第七分隊長 上尉 渡辺昇	第七分隊長 上尉 須田三彦
第八小隊長 中尉 曾長全	第八分隊長 上尉 三枝直富	第八分隊長 上尉 渡辺昇	第八分隊長 上尉 須田三彦
第九小隊長 中尉 曾長全	第九分隊長 上尉 三枝直富	第九分隊長 上尉 渡辺昇	第九分隊長 上尉 須田三彦
第十小隊長 中尉 曾長全	第十分隊長 上尉 三枝直富	第十分隊長 上尉 渡辺昇	第十分隊長 上尉 須田三彦

11247 120

揚々 2110

第十中隊編成表

昭和十三年七月十日現在

[illegible]

第十一中隊編成表			
昭和十三年六月十九日現在			
中隊長	第一小隊	第二小隊	第三小隊
大尉 長田好置	第一分隊 上 長田好置 上 小川重秋 上 湯井實 上 前田國藏 上 安藤義友	第一分隊 上 中川四郎 上 中島善八 上 中島善八 上 中島善八 上 中島善八	第一分隊 上 永田正道 上 吉田貞雄 上 井上貞雄 上 井上貞雄 上 井上貞雄
少尉 橫井光一	第二分隊 上 井上貞雄 上 井上貞雄 上 井上貞雄 上 井上貞雄 上 井上貞雄	第二分隊 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄	第二分隊 上 松本司郎 上 青木重雄 上 遠藤辰雄 上 遠藤辰雄 上 遠藤辰雄
少尉 木方一男	第三分隊 上 安達元 上 安達元 上 安達元 上 安達元 上 安達元	第三分隊 上 金子喜助 上 金子喜助 上 金子喜助 上 金子喜助 上 金子喜助	第三分隊 上 伊藤信三 上 伊藤信三 上 伊藤信三 上 伊藤信三 上 伊藤信三
少尉 實田重政	第四分隊 上 松田陽一 上 松田陽一 上 松田陽一 上 松田陽一 上 松田陽一	第四分隊 上 清水正藏 上 清水正藏 上 清水正藏 上 清水正藏 上 清水正藏	第四分隊 上 杉本行孝 上 杉本行孝 上 杉本行孝 上 杉本行孝 上 杉本行孝
指揮班	第五分隊 上 村松陽一 上 村松陽一 上 村松陽一 上 村松陽一 上 村松陽一	第五分隊 上 長田一磨 上 長田一磨 上 長田一磨 上 長田一磨 上 長田一磨	第五分隊 上 岩本健造 上 岩本健造 上 岩本健造 上 岩本健造 上 岩本健造
上 國田重治	第六分隊 上 石野春教 上 石野春教 上 石野春教 上 石野春教 上 石野春教	第六分隊 上 志田新正 上 志田新正 上 志田新正 上 志田新正 上 志田新正	第六分隊 上 宮原久雄 上 宮原久雄 上 宮原久雄 上 宮原久雄 上 宮原久雄
上 若月重治	第七分隊 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎	第七分隊 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄	第七分隊 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄
上 望月重治	第八分隊 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎	第八分隊 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄	第八分隊 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄
上 金子重治	第九分隊 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎	第九分隊 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄	第九分隊 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄
上 山寺松太郎	第十分隊 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎	第十分隊 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄	第十分隊 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄
上 青木重治	第十一分隊 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎	第十一分隊 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄	第十一分隊 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄
上 戸島政雄	第十二分隊 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎 上 石田伊三郎	第十二分隊 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄 上 高橋善雄	第十二分隊 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄 上 吉田貞雄
合計	一六名	四三名	四八名
合計	一五四名	四七名	一五四名

卷十 車像編成表

光緒二十三年六月三十日現在

2113

[illegible]

第十一中隊紀成表

昭和十三年七月十日現在

合計		一九名		五三名		五五名		五〇名		一七七名	
中隊幹部指揮班 第一小隊 第二小隊 第三小隊											
第一分隊 第二分隊 第三分隊 第四分隊 第五分隊 第六分隊											
第一分隊 第二分隊 第三分隊 第四分隊 第五分隊 第六分隊											
第一分隊 第二分隊 第三分隊 第四分隊 第五分隊 第六分隊											

第十中隊 編成表		昭和十三年六月十九日現在	
中隊長	第一小隊	第二小隊	第三小隊
第一小隊長 高橋 武	第一分隊 安齊重吉	第一分隊 常盤貞雄	第一分隊 菅田久壽
第二小隊長 吉澤義夫	第二分隊 吉田良雄	第二分隊 河野菊造	第二分隊 關野光雄
第三小隊長 林 孫太郎	第三分隊 武田政次	第三分隊 青木太一	第三分隊 吉田 勇
指揮班	第四分隊 小倉 茂	第四分隊 小倉 茂	第四分隊 小倉 茂
加藤俊道	第五分隊 小倉 茂	第五分隊 小倉 茂	第五分隊 小倉 茂
深澤 勇	第六分隊 小倉 茂	第六分隊 小倉 茂	第六分隊 小倉 茂
武藏進一	第七分隊 小倉 茂	第七分隊 小倉 茂	第七分隊 小倉 茂
永井吉雄	第八分隊 小倉 茂	第八分隊 小倉 茂	第八分隊 小倉 茂
新井陸雄	第九分隊 小倉 茂	第九分隊 小倉 茂	第九分隊 小倉 茂
川島 敏	第十分隊 小倉 茂	第十分隊 小倉 茂	第十分隊 小倉 茂
小林秀臣	第十一分隊 小倉 茂	第十一分隊 小倉 茂	第十一分隊 小倉 茂
鈴木伴三	第十二分隊 小倉 茂	第十二分隊 小倉 茂	第十二分隊 小倉 茂
坂口 環	第十三分隊 小倉 茂	第十三分隊 小倉 茂	第十三分隊 小倉 茂
日代 武治	第十四分隊 小倉 茂	第十四分隊 小倉 茂	第十四分隊 小倉 茂

112

第十一中隊 編成表		昭和七年七月十日現在	
中隊長 端山淳	第一小隊長 安齊重吉	第二小隊長 常盤貞雄	第三小隊長 三井利平
第一小隊長 加藤俊道	第二小隊長 竹野義典	第三小隊長 池田正造	第四小隊長 石渡善作
第二小隊長 荒波寛一	第三小隊長 關健次	第四小隊長 原中七郎	第五小隊長 小泉義典
第三小隊長 林孫太郎	第四小隊長 山田準二	第五小隊長 天野九平	第六小隊長 桑原義典
指揮班	中隊長 水野福次郎	第一小隊長 武川五郎	第二小隊長 武田甲七
指揮班	第二小隊長 中村辰五郎	第三小隊長 小森幸秀	第四小隊長 鈴木一男
指揮班	第三小隊長 和田清春	第五小隊長 平井正雄	第六小隊長 關野光雄
指揮班	第四小隊長 長田夏隆	第七小隊長 渡辺善八郎	第八小隊長 西川新三
指揮班	第五小隊長 和野勘藏	第九小隊長 堀江次郎	第十小隊長 坂井芳次郎
指揮班	第六小隊長 酒井定雄	第十一小隊長 宮崎松次	第十二小隊長 青木竹治
指揮班	第七小隊長 内田政次	第十三小隊長 須田磯吉	第十四小隊長 山本勝男
指揮班	第八小隊長 荒井幸男	第十五小隊長 中山勝男	第十六小隊長 吉田小平
指揮班	第九小隊長 秋山保市	第十七小隊長 岡部高市	第十八小隊長 吉田小平
指揮班	第十小隊長 武廣雄	第十九小隊長 水村一郎	第二十小隊長 吉田小平
指揮班	第十一小隊長 真野暉朗	第二十一小隊長 水島豐作	第二十二小隊長 吉田小平
指揮班	第十二小隊長 北澤善治	第二十三小隊長 系松造	第二十四小隊長 吉田小平
指揮班	第十三小隊長 岸上音郎	第二十五小隊長 志村玉次	第二十六小隊長 吉田小平
指揮班	第十四小隊長 石井伊八	第二十七小隊長 小侯留吉	第二十八小隊長 吉田小平
指揮班	第十五小隊長 森谷光吉	第二十九小隊長 河野菊造	第三十小隊長 吉田小平
指揮班	第十六小隊長 木村延義	第三十一小隊長 小島秋造	第三十二小隊長 吉田小平
指揮班	第十七小隊長 鈴本隆	第三十三小隊長 佐藤龍心	第三十四小隊長 吉田小平
指揮班	第十八小隊長 柳川佐重	第三十五小隊長 小澤通	第三十六小隊長 吉田小平
指揮班	第十九小隊長 古山俊雄	第三十七小隊長 長谷川國弘	第三十八小隊長 吉田小平
指揮班	第二十小隊長 森田英一郎	第三十九小隊長 市川昌	第四十小隊長 吉田小平
指揮班	第二十一小隊長 小島榮一	第四十一小隊長 山田恒夫	第四十二小隊長 吉田小平
指揮班	第二十二小隊長 加藤宗太郎	第四十三小隊長 土屋康夫	第四十四小隊長 吉田小平
指揮班	第二十三小隊長 平松代治	第四十五小隊長 小島武夫	第四十六小隊長 吉田小平
指揮班	第二十四小隊長 竹下勝政	第四十七小隊長 野地仙造	第四十八小隊長 吉田小平
指揮班	第二十五小隊長 小島紀重	第四十九小隊長 村松義典	第五十小隊長 吉田小平
指揮班	第二十六小隊長 早川運平	第五十一小隊長 藤森正一	第五十二小隊長 吉田小平
指揮班	第二十七小隊長 鍋田春三	第五十三小隊長 有泉正一	第五十四小隊長 吉田小平
指揮班	第二十八小隊長 藤森岩雄	第五十五小隊長 川口留吉	第五十六小隊長 吉田小平
指揮班	第二十九小隊長 田島龍太郎	第五十七小隊長 水島和夫	第五十八小隊長 吉田小平
指揮班	第三十小隊長 佐藤政雄	第五十九小隊長 横森勝男	第六十小隊長 吉田小平
指揮班	第三十一小隊長 森金高	第六十一小隊長 田代利雄	第六十二小隊長 吉田小平
指揮班	第三十二小隊長 三井重二	第六十三小隊長 堀川存	第六十四小隊長 吉田小平

計一七名
合計一六四名

計四八名

計五〇名

計四九名

昭和十三年六月十九日現在

2118

中隊幹部指揮班		第一小隊		第二小隊		彈藥小隊	
中隊長代理 少尉 水元三郎		第一分隊 長 齊藤 津条吉		第一分隊 長 軍前田 平太郎		第一分隊 長 伍大井 諦玄	
第一小隊長 少尉 小林又五郎		上 齊藤 喜一		上 小林 辨次		上 鈴木 孝次郎	
第二小隊長 少尉 原武雄		上 松山 正時		上 松浦 福治		上 鈴木 孝次郎	
彈藥小隊長 准尉 板山 義長		上 山村 繁藏		上 柿沢 吉五郎		上 市川 政次	
指揮班 長 軍米山 雅時		上 伊藤 望昌		上 井上 勉		上 鈴木 福太郎	
軍佐 藤靜男		上 後藤 景		上 大貫 勾		上 北原 忠作	
上 鈴木 定一		上 高井 靜男		上 野頭 大助		上 倉田 義孝	
上 深澤 隆平		上 小俣 真丈		上 富永 友次郎		上 川口 竹次	
上 望月 定八		上 加藤 顯二		上 飯田 重徳		上 溝口 貫之	
上 花野 政司		上 伏見 直次		上 秋谷 寛次郎		上 佐藤 房雄	
上 高木 敬		上 岸田 平吉		上 堀内 熊男		上 石井 利助	
上 相川 昇		上 野中 正雄		上 熊沢 勘四郎		上 東條 卯二郎	
上 森屋 江津美		上 近藤 一造		上 松本 勇作		上 植木 誠三	
上 齊藤 五郎		上 小泉 保藏		上 吉田 重秋			
上 鈴木 政雄		上 清水 邦雄					
		第二分隊 長 軍 齊藤 豊次郎		第二分隊 長 軍 小泉 豊次郎		第二分隊 長 上 藤田 福太郎	
		上 松本 光治		上 市川 熊男		上 駒井 久雄	
		上 池谷 義明		上 中山 有文		上 秋本 若松	
		上 池田 伸藏		上 藤本 富造		上 依田 隆光	
		上 廣田 新太郎		上 小島 光治		上 冨永 澄雄	
		上 小田 原八郎		上 石岡 政吉		上 吉沢 三吉	
		上 清呂 木一郎		上 鈴木 信一		上 阿部 川栄太郎	
		上 関 戸貞則		上 岸 吉之助		上 菅沼 重義	
		上 茂垣 幸太郎		上 丸井 竹造		上 青木 久雄	
		上 小沢 榮造		上 関野 八郎		上 小早川 猛男	
		上 野沢 義次		上 山田 宣		上 中島 久雄	
		上 安西 竹松		上 鈴木 耕作			
		上 鈴木 仙太郎		上 片野 直次			
		上 小沢 義清		上 古屋 潔			
				上 大沢 丞次郎			
合計		二九名		二九名		二四名	
合計		一五名		九七名			